

沼倉千紘さん『バドミントンのルール（サーブ）』（8月17日配信）

今日は、バドミントンのルールを一部ご紹介します。

バドミントンの試合では、まずサーブから始まります。正式には「サービス」と言います。

サーブに関するルールですが、現行ではサーブの打点が床から 1.15m 以下でなければならないとなっています。もしそれよりも高い打点でサーブをしてしまうと「フォルト」となり、相手に1点が入ります。

このルールに変わったのは実は最近で、去年の4月からです。その前は、ルールが違いました。打点がサーバーの肘の高さ以下（※）であること、となっていました。つまり、選手の身長が影響します。背の高い選手は当然肘の位置も高くなるので、高い位置からサーブが打てることになり、背の低い選手は低い位置からのサーブになってしまいます。ネットの高さは同じですから、背の高い選手のサーブは平行に近く、背の低い選手はネットを越すように山なりに打たなければならなくなり、シャトルの軌道に差が出ます。

ですが、今は、選手の身長に関係なく床から 1.15m というルールになったので、背の高い選手は以前のルールよりもかなり低い位置から打つことになります。身長が 2m もあるような選手はかなり身体をかがめることになるので大変なのではないかと思います。私ぐらいの身長の選手は、ルールが変わってもサーブの打点はそれほど変わりがないので、あまり影響はありません。背の高い選手にとっては影響が大きいと思います。

今後、国際大会で背の高い選手と対戦する時には、ちょっと有利になるかもしれないなと思っています。

※正式には、ウエスト（肋骨の一番下の部位の高さ）より下